

為替ヘッジあり

第135期末(2023年11月17日)	
基準価額	4,446円
純資産総額	661百万円
第130期～第135期	
騰落率	△ 5.8%
分配金(税引前)合計	120円

為替ヘッジなし

第135期末(2023年11月17日)	
基準価額	7,148円
純資産総額	8,502百万円
第130期～第135期	
騰落率	6.7%
分配金(税引前)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2023年5月18日～2023年11月17日

交付運用報告書

第130期(決算日 2023年6月19日) 第133期(決算日 2023年9月19日)

第131期(決算日 2023年7月18日) 第134期(決算日 2023年10月17日)

第132期(決算日 2023年8月17日) 第135期(決算日 2023年11月17日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび、第135期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債(CB)等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行いました。

「為替ヘッジあり」においては、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

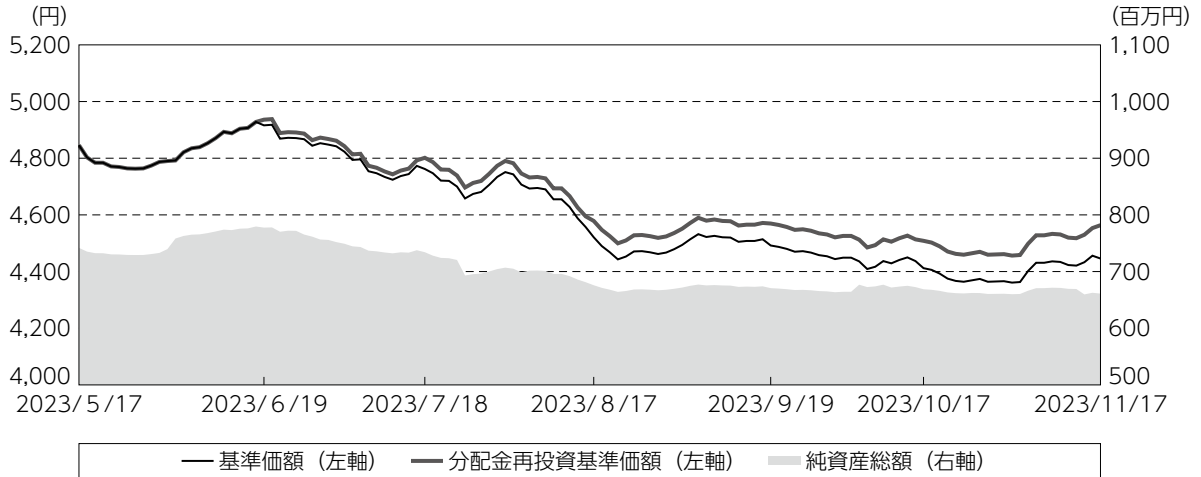
※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年5月18日～2023年11月17日)

【為替ヘッジあり】



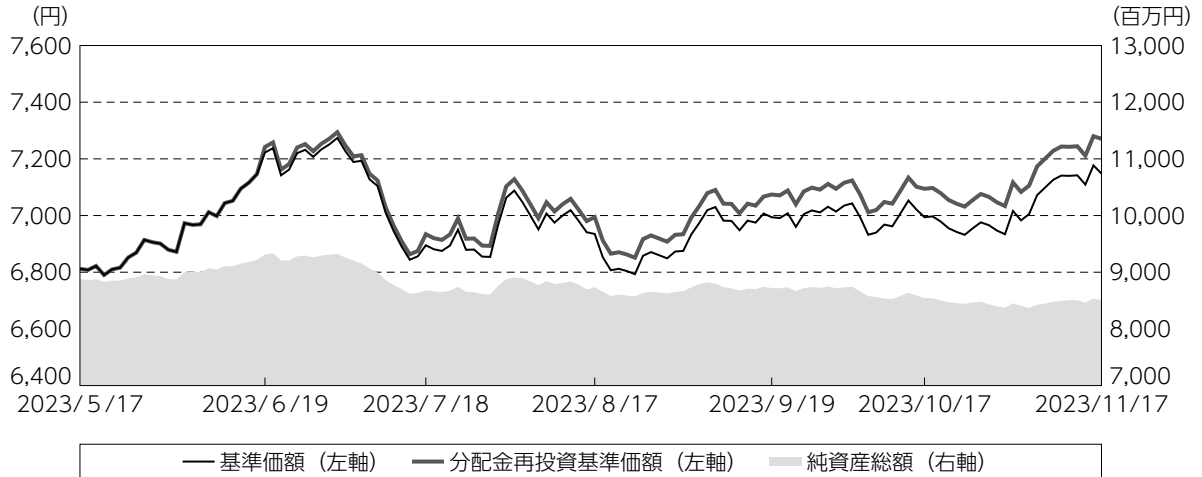
第130期首：4,846円

第135期末：4,446円 (既払分配金 (税引前) : 120円)

騰落率：△5.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2023年5月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第130期首：6,812円

第135期末：7,148円 (既払分配金 (税引前)：120円)

騰落率：6.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2023年5月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」 (マザーファンド) において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
 - ・情報技術、コミュニケーション・サービスセクターが堅調に推移し、銘柄別ではSK HYNIX INC、BHARTI AIRTEL LTD、LENOVO GROUP LTDなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」 (マザーファンド) において、保有債券の利回りが上昇し債券価格が下落したことがマイナス要因となりました。
 - ・対円でのドル売りヘッジコストがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
 - ・金融、生活必需品セクターが軟調に推移し、銘柄別ではL & F CO LTD、WYNN MACAU LTD、LG CHEM LTDなどの組入れがマイナス要因となりました。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」 (マザーファンド) において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
 - ・為替市場で米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
 - ・情報技術、コミュニケーション・サービスセクターが堅調に推移し、銘柄別ではSK HYNIX INC、BHARTI AIRTEL LTD、LENOVO GROUP LTDなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」 (マザーファンド) において、保有債券の利回りが上昇し債券価格が下落したことがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
 - ・金融、生活必需品セクターが軟調に推移し、銘柄別ではL & F CO LTD、WYNN MACAU LTD、LG CHEM LTDなどの組入れがマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2023年5月18日～2023年11月17日)

【為替ヘッジあり】

項 目	第130期～第135期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	26	0.570	(a)信託報酬=作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投 信 会 社)	(10)	(0.221)	
(販 売 会 社)	(15)	(0.332)	
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	
(b) そ の 他 費 用	0	0.008	(b)その他費用=作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
(監 査 費 用)	(0)	(0.007)	
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	26	0.578	
作成期間中の平均基準価額は、4,608円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

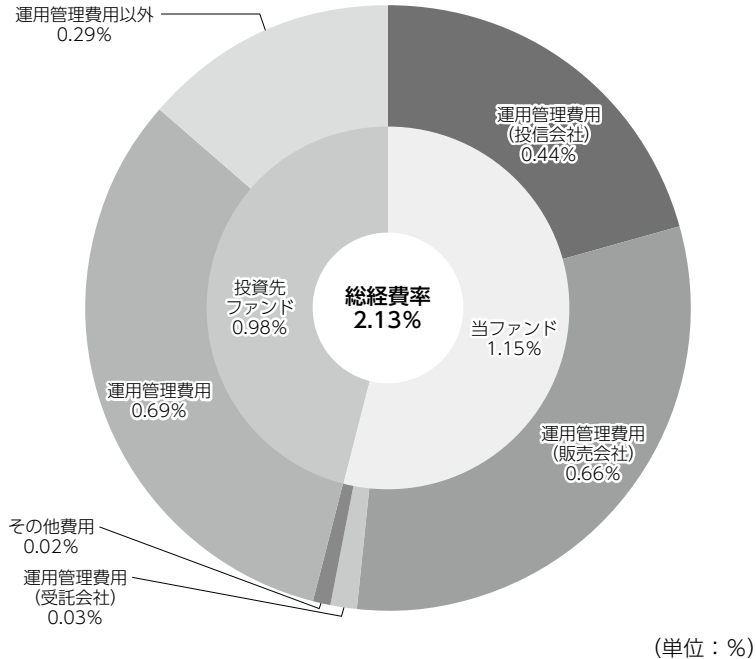
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率 (①+②+③)	2.13
①当ファンドの費用の比率	1.15
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【為替ヘッジなし】

項 目	第130期～第135期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 40 (15) (23) (1)	% 0.570 (0.221) (0.332) (0.017)	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	40	0.577	
作成期間中の平均基準価額は、6,994円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

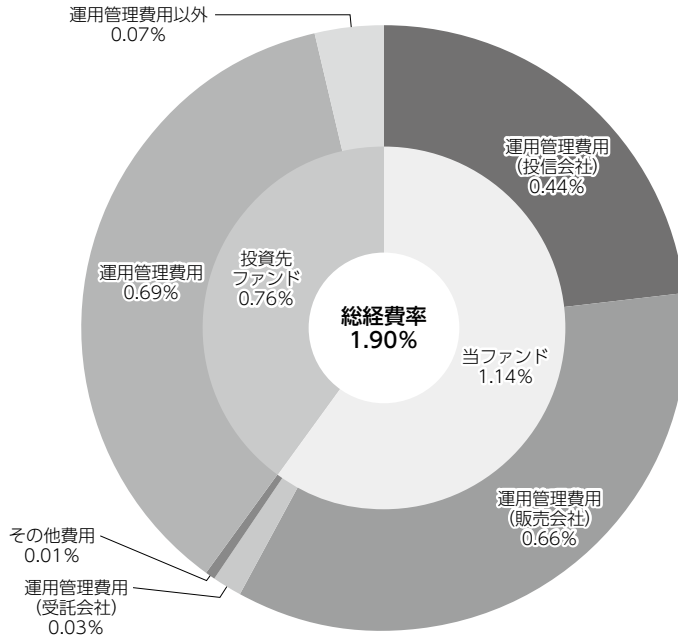
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万円当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



（単位：％）

総経費率 (①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

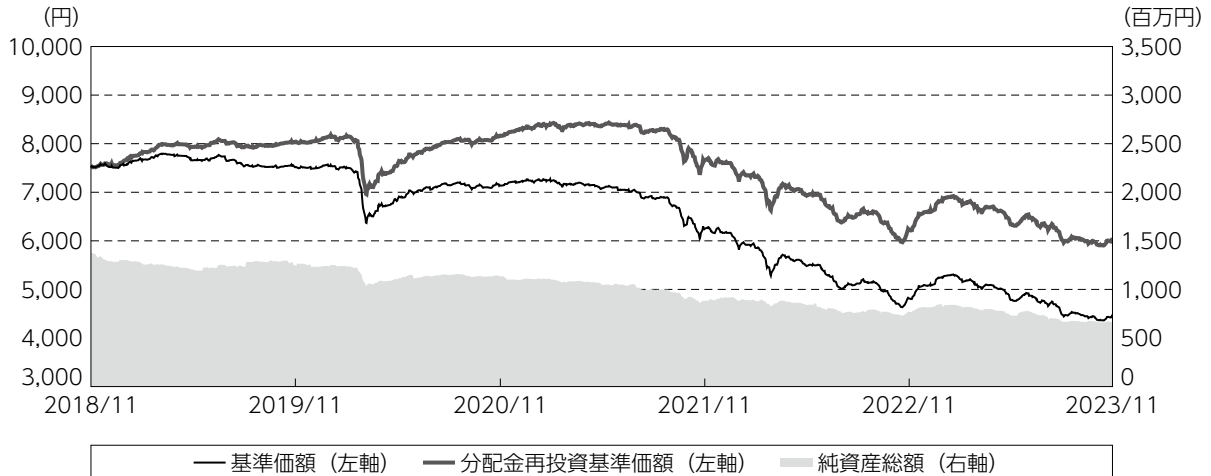
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月19日～2023年11月17日)

【為替ヘッジあり】

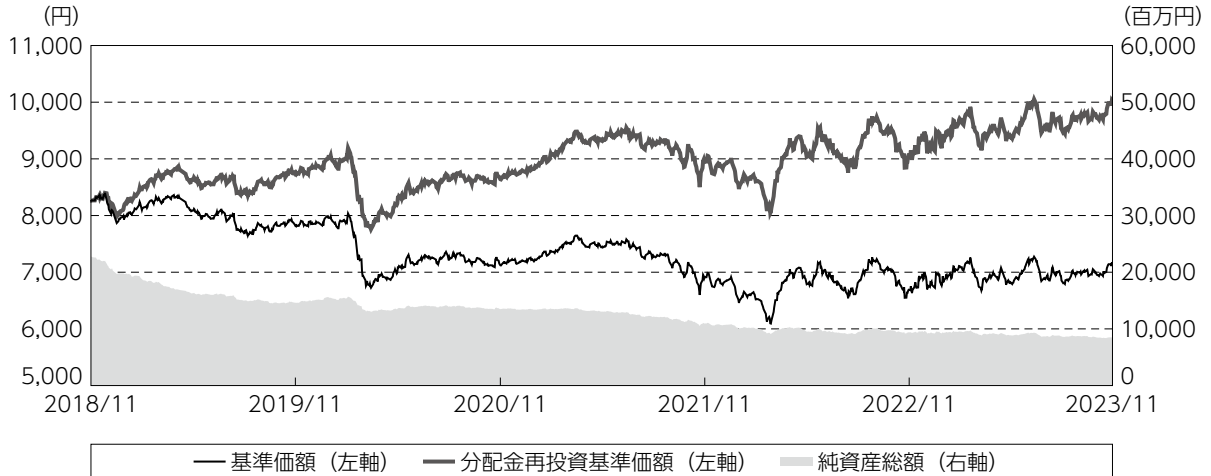


- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月19日 期初	2019年11月18日 決算日	2020年11月17日 決算日	2021年11月17日 決算日	2022年11月17日 決算日	2023年11月17日 決算日
基準価額 (円)	7,550	7,517	7,130	6,243	4,827	4,446
期間分配金合計(税引前) (円)	—	510	480	480	300	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.4	1.5	△ 6.2	△ 18.3	△ 3.2
J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate (%) Index(米ドル建て)騰落率	—	13.3	4.4	△ 9.1	△ 25.0	9.5
純資産総額 (百万円)	1,370	1,246	1,135	881	770	661

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate Index (米ドル建て) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

【為替ヘッジなし】



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月19日 期初	2019年11月18日 決算日	2020年11月17日 決算日	2021年11月17日 決算日	2022年11月17日 決算日	2023年11月17日 決算日
基準価額 (円)	8,278	7,838	7,155	6,934	6,669	7,148
期間分配金合計(税引前) (円)	—	900	600	480	300	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.9	△ 0.9	3.5	0.6	10.9
J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate (%) Index (円換算後)騰落率	—	9.4	0.3	△ 0.0	△ 8.9	18.3
純資産総額 (百万円)	22,801	14,618	13,552	11,006	9,371	8,502

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate Index (円換算後)は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2023年5月18日～2023年11月17日)

当作成期のアジア ハイ・イールド債券市場は上昇しました。作成期首は米連邦準備制度理事会 (F R B) 高官による追加利上げを示唆する発言や債務上限問題の協議の難航などを背景に米国債利回りが上昇する中、アジア・ハイ・イールド債券市場は下落して始まりました。2023年5月下旬以降は、米国債利回りが上昇し、中国では経済指標の弱含みや不動産セクターを巡る懸念が高まったものの、中国人民銀行が経済支援策として政策金利を引き下げたことを受けて投資家心理が改善しました。6月中旬以降は、米国債利回りが引き続き上昇する中、中国における不動産開発企業の利払い不履行などが懸念され、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね下落基調で推移しました。しかし、11月に入るとF R Bの追加利上げ観測の後退から米国債利回りが急低下した状況下、作成期末にかけてアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

アジアC B市場は上昇しました。2023年5月以降、人工知能 (A I) の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心にグローバル株式市場が上昇する中、アジアC B市場も堅調に推移しました。しかし、8月以降は、米国債利回り上昇が警戒されたことに加え、中国の景気減速や不動産開発企業の信用問題が懸念されたことから、株式市場の下落にあわせてアジアC B市場も軟調に推移しました。11月に入ると利上げ終了観測が高まり、再び株式市場、アジアC B市場ともに堅調に推移しました。このような中、アジアC B市場については、素材セクターが軟調に推移したものの、情報技術、コミュニケーション・サービスセクターが堅調に推移しました。

為替市場では米ドルが対円で上昇しました。2023年7月に日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まった局面において米ドル/円下落の動きが見られたものの、米国債金利の上昇に伴う日米の金利差拡大を背景に、ドル/円は上値を試す展開が作成期を通じて続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月18日～2023年11月17日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」および「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。なお、「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行いました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期においては、国別でインドなどの投資比率を引き上げた一方、中国などの投資比率を引き下げました。業種別では、金融などの投資比率を引き上げた一方、不動産などの投資比率を引き下げました。

○シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券(転換優先株、他社株転換可能債券など)に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期におきましては、セクター別では一般消費財・サービス、情報技術、資本財・サービスセクターの組入比率を高位とし、国別では中国、台湾、インドを中心とした組入れとしました。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」および「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期においては、国別でインドなどの投資比率を引き上げた一方、中国などの投資比率を引き下げました。業種別では、金融などの投資比率を引き上げた一方、不動産などの投資比率を引き下げました。

○シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

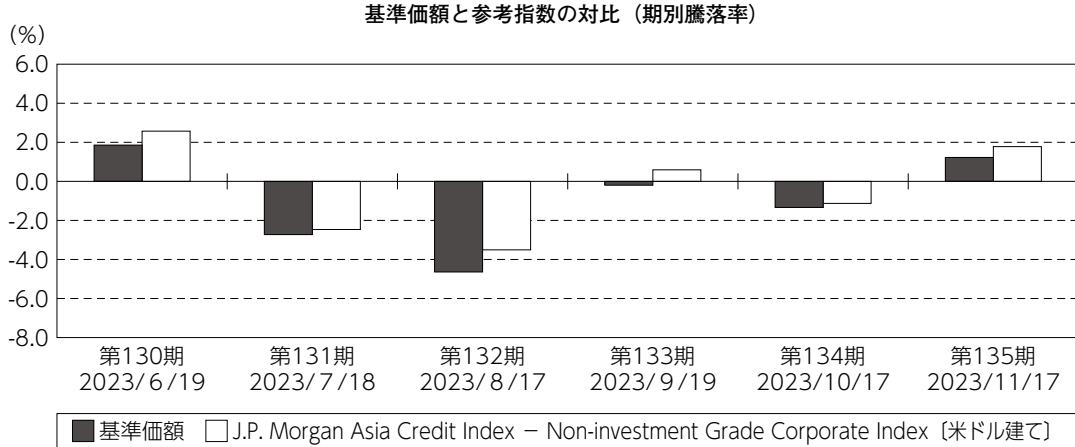
前述をご参照ください。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月18日～2023年11月17日)

【為替ヘッジあり】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

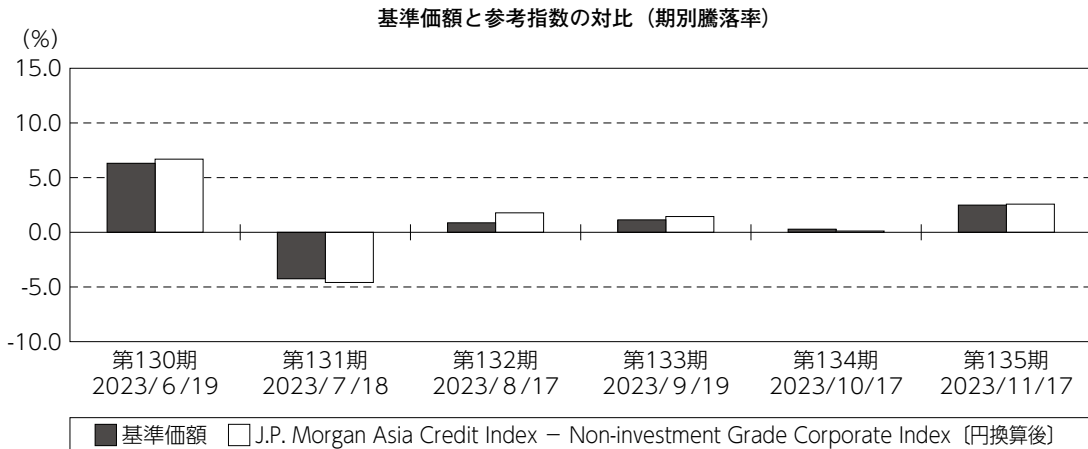


(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

【為替ヘッジなし】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

分配金

(2023年5月18日～2023年11月17日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、每期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2023年5月18日～ 2023年6月19日	2023年6月20日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年8月17日	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.405%	0.418%	0.440%	0.443%	0.451%	0.448%
当期の収益	20	18	16	19	14	17
当期の収益以外	—	1	3	0	5	2
翌期繰越分配対象額	347	346	343	342	337	334

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、每期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2023年5月18日～ 2023年6月19日	2023年6月20日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年8月17日	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.276%	0.289%	0.288%	0.285%	0.285%	0.279%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	583	590	599	611	614	623

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」と「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。なお、「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行います。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

○シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券(転換優先株、他社株転換可能債券など)に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」と「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

○シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

前述をご参照ください。

お知らせ

【為替ヘッジあり】 / 【為替ヘッジなし】

- ・SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月1日)

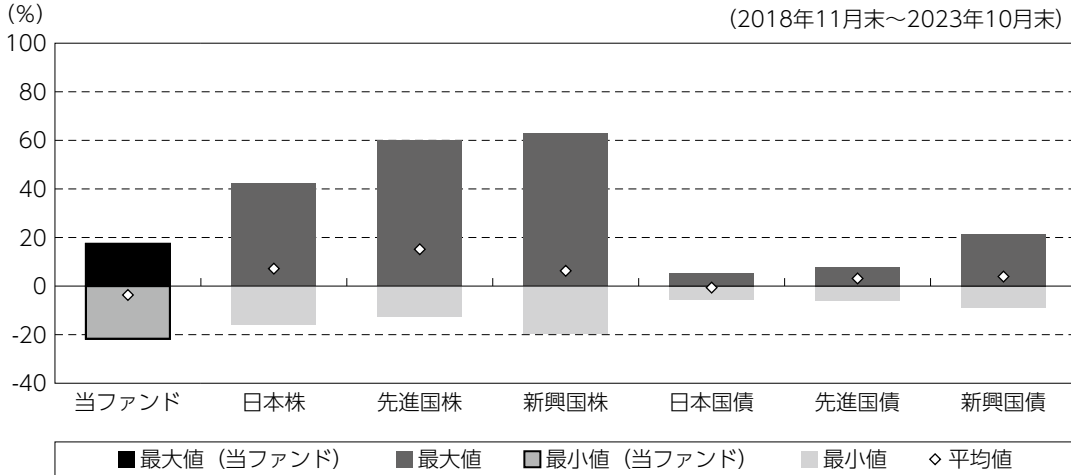
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2012年8月27日から2027年5月17日までです。		
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（CB）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。		
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用） ・シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て）） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。	
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） ・シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て）） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。	
	シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））	ファンドの資産のうち少なくとも3分の2以上は、アジア（除く日本）企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）を主要投資対象とします。	
運用方法	投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析等を基に銘柄を選定します。また転換社債（CB）に関しては、前記に加え、株価との連動性等を勘案し銘柄を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、金利収入の獲得を重視し、債券価格の上昇による投資信託財産の成長を目指します。		
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。		

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【為替ヘッジあり】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	17.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 21.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 3.7	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

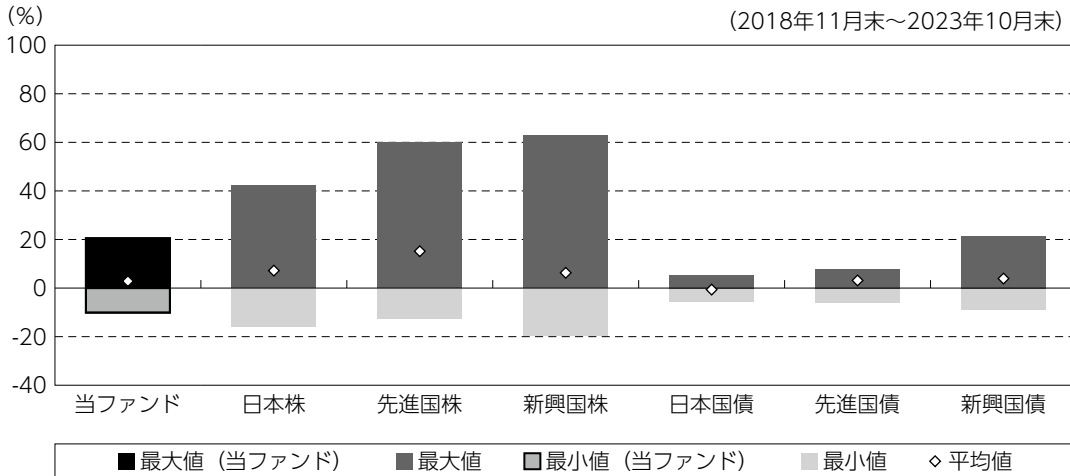
先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【為替ヘッジなし】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 10.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	2.9	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ【為替ヘッジあり】

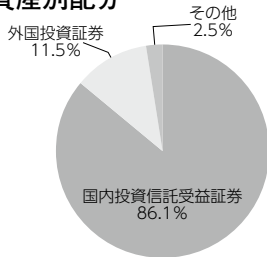
組入資産の内容

(2023年11月17日現在)

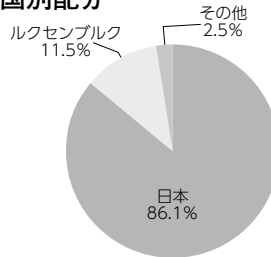
○組入上位ファンド

銘柄名	第135期末
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	86.1%
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て))	11.5%
組入銘柄数	2銘柄

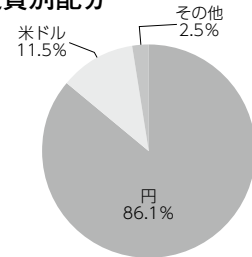
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月17日	2023年9月19日	2023年10月17日	2023年11月17日
純資産総額	777,547,681円	734,152,231円	675,859,873円	670,742,757円	668,780,550円	661,093,550円
受益権総口数	1,581,803,209口	1,541,657,974口	1,494,970,932口	1,493,093,353口	1,515,710,018口	1,487,060,657口
1万口当たり基準価額	4,916円	4,762円	4,521円	4,492円	4,412円	4,446円

(注) 当作成期間(第130期~第135期)中における追加設定元本額は106,367,102円、同解約元本額は150,150,470円です。

当ファンドのデータ【為替ヘッジなし】

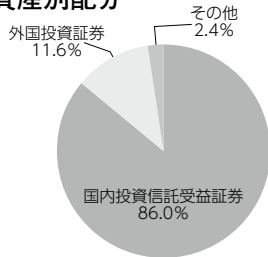
組入資産の内容

(2023年11月17日現在)

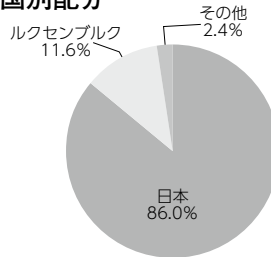
○組入上位ファンド

銘柄名	第135期末
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	86.0%
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て))	11.6%
組入銘柄数	2銘柄

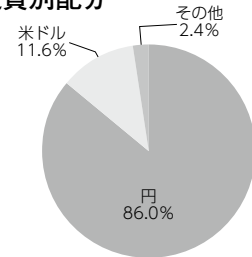
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

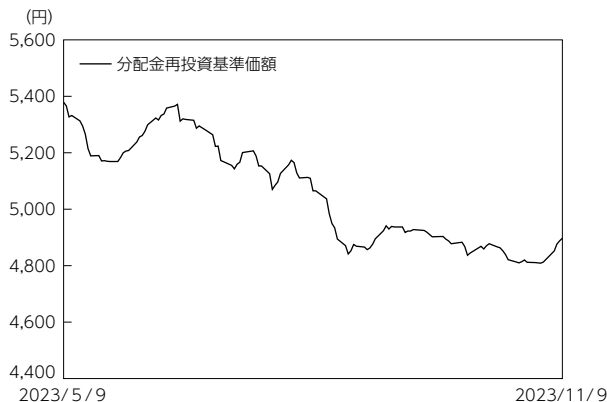
項目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月17日	2023年9月19日	2023年10月17日	2023年11月17日
純資産総額	9,313,341,863円	8,679,132,737円	8,735,152,014円	8,722,755,282円	8,543,882,366円	8,502,169,147円
受益権総口数	12,896,289,090口	12,587,421,812口	12,596,599,187口	12,472,598,604口	12,216,291,664口	11,894,105,813口
1万口当たり基準価額	7,222円	6,895円	6,935円	6,994円	6,994円	7,148円

(注) 当作成期間(第130期~第135期)中における追加設定元本額は384,094,670円、同解約元本額は1,521,077,194円です。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2023年5月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月10日～2023年11月9日)

項 目	第138期	第143期
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	18	0.354
(投 託 信 会 社)	(16)	(0.332)
(販 売 会 社)	(0)	(0.006)
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)
(b) そ の 他 費 用	8	0.151
(保 管 費 用)	(7)	(0.139)
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)
(そ の 他)	(0)	(0.001)
合 計	26	0.505

作成期間中の平均基準価額は、4,965円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 作成期間中の費用 (消費税等のかかるものは消費税を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

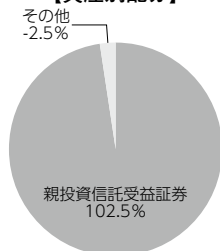
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

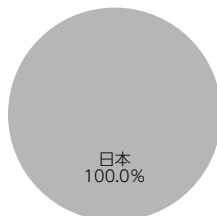
(2023年11月9日)

銘 柄 名	投資比率
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	102.5%
その他	-2.5%
組入銘柄数	1銘柄

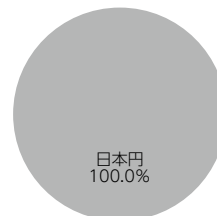
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) その他は現金・預金・その他の資産 (負債控除後) です。

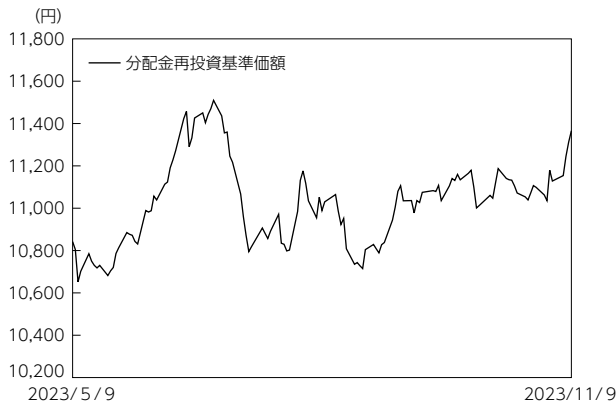
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2023年5月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月10日～2023年11月9日)

項 目	第138期	第143期
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	39	0.354
(投 託 信 会 社)	(36)	(0.332)
(販 売 信 会 社)	(1)	(0.006)
(受 託 信 会 社)	(2)	(0.017)
(b) そ の 他 費 用	2	0.022
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	41	0.376

作成期間中の平均基準価額は、10,912円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 作成期間中の費用 (消費税等のかかるものは消費税を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

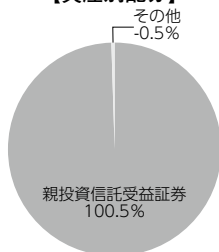
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

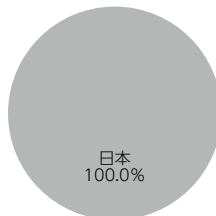
(2023年11月9日)

銘 柄 名	投資比率
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	100.5
その他	-0.5
組入銘柄数	1銘柄

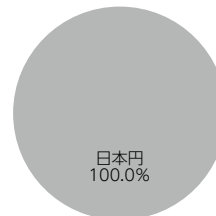
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

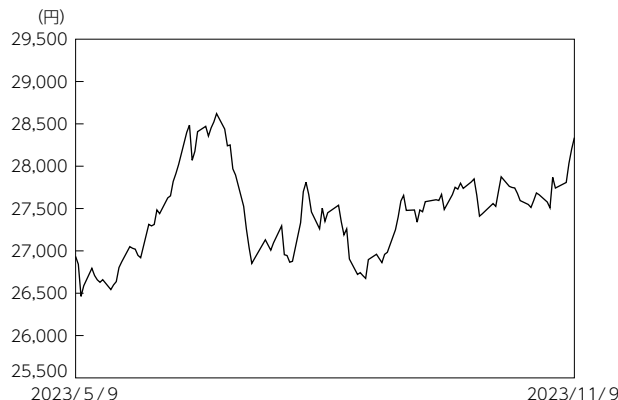
(注) その他は現金・預金・その他の資産 (負債控除後) です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

参考情報：G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用) の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月10日～2023年11月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	3	0.011
(保 管 費 用)	(3)	(0.011)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	3	0.011

期中の平均基準価額は、27,529円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

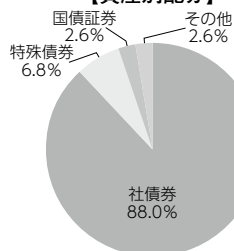
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

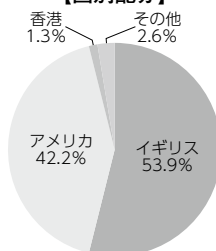
(2023年11月9日)

銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比 率
1 INDIA GREEN 5.375% REGS	社債券	米ドル	イギリス	3.5
2 INDIKA ENERGY 8.25% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	3.4
3 WYNN MACAU 5.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	3.2
4 STUDIO CITY FIN 6% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	2.9
5 BANK TABUNGAN 4.2%	社債券	米ドル	イギリス	2.7
6 BK EAST ASIA VAR EMTN 4	社債券	米ドル	イギリス	2.7
7 INDIA GREEN POWE 4% REGS	社債券	米ドル	イギリス	2.7
8 MELCO RESORTS 5.75% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	2.6
9 HUARONG FIN 5% EMTN	特殊債券	米ドル	イギリス	2.5
10 CAS CAPITAL VAR	社債券	米ドル	イギリス	2.3
組入銘柄数	84銘柄			

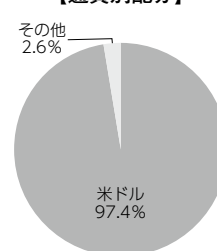
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) その他は現金・預金・その他の資産 (負債控除後) です。

(注) 国 (地域) および国別配分につきましては発行国を表示しております。

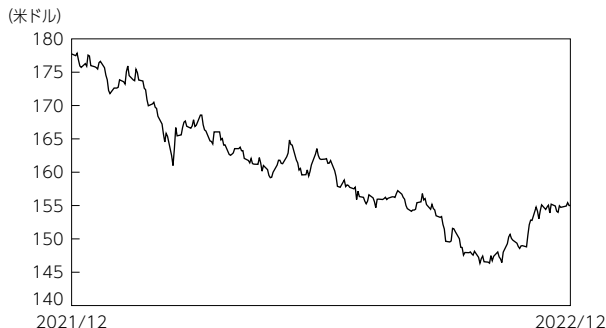
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

組入上位ファンドの概要

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

※シュローダー・インベストメント・マネジメント (スイス) AGのデータを基に、SBI岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月1日～2022年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

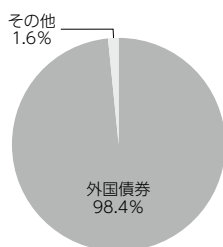
以下は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCBの状況です。

【組入上位10銘柄】

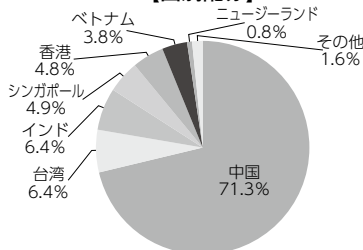
(2022年12月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	ANLLIAN Capital Ltd., Reg. S 0% 05/02/2025	一般消費財・サービス	ユーロ	中国	7.0
2	Bharti Airtel Ltd., Reg. S 1.5% 17/02/2025	コミュニケーション・サービス	米ドル	インド	6.4
3	Kingsoft Corp.Ltd., Reg. S 0.625% 29/04/2025	コミュニケーション・サービス	香港ドル	中国	6.0
4	Meituan, Reg. S 0% 27/04/2028	一般消費財・サービス	米ドル	中国	5.2
5	Zhongsheng Group Holdings Ltd., Reg. S 0% 21/05/2025	一般消費財・サービス	香港ドル	中国	4.9
6	Cathay Pacific Finance III Ltd., Reg. S 2.75% 05/02/2026	資本財・サービス	香港ドル	香港	4.8
7	Singapore Airlines Ltd., Reg. S 1.625% 03/12/2025	資本財・サービス	シンガポールドル	シンガポール	3.8
8	Poseidon Finance 1 Ltd., Reg. S 0% 01/02/2025	金融	米ドル	中国	3.7
9	CIMC Enric Holdings Ltd., Reg. S 0% 30/11/2026	資本財・サービス	香港ドル	中国	3.6
10	Universe Trek Ltd., Reg. S 0% 15/06/2026	金融	米ドル	中国	3.3
組入銘柄数			43銘柄		

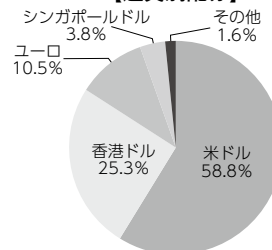
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましてはリスク国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。